

VOIP の音声品質測定 導入事例

電話サービスを提供しているキャリアにとり、安定した通話品質の提供は必須です。

概要

電話サービスを提供しているキャリアにとり、安定した通話品質の提供は必須となっております。安定した通話品質の目安としては、声が途切れない、声が遅れて届かない等の計測項目が存在します。

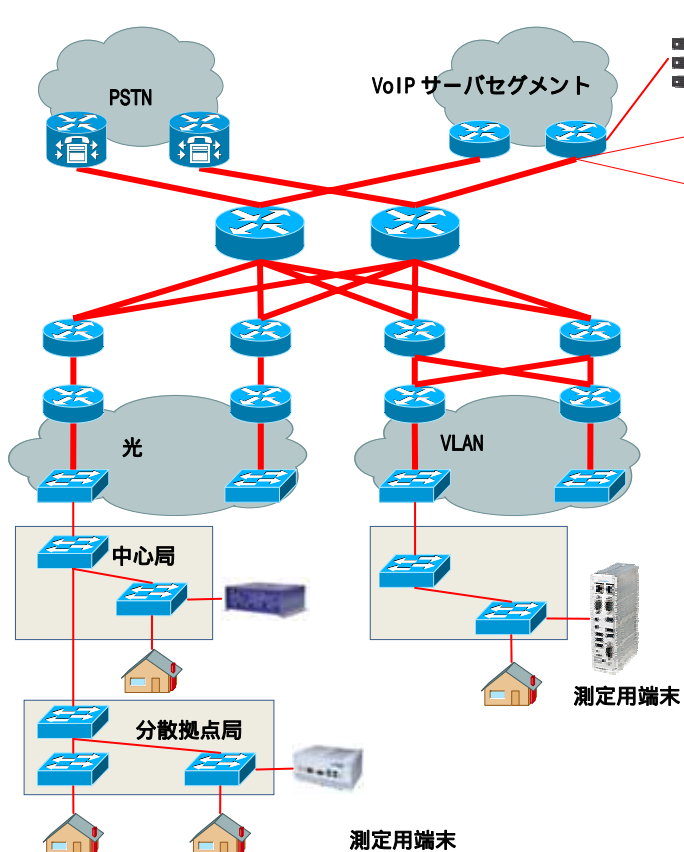
これら計測項目は従来のシステム監視の監視項目である死活やリソースの使用状態とは異なり、エンドユーザ感覚から計測項目となります。音声品質におけるエンドユーザ感覚を数値化する手法として MOS 値と呼ばれるものがあり、人間の耳で音声を聞き、その品質を 1 から 5 の間の数字で表します。

また、この MOS 値は遅延やエコー等の計測項目から自動的に算出する事も可能です。

Voip 試験の採用の決め手は？

AppManager VoIP Quality は、音声ネットワーク上に疑似 VoIP トラフィックを適用して、その疑似トラフィックに対する遅延、ジッタ、データロスなどの測定や、その測定結果を基にした MOS 値の計測、グラフ作成を自動的に行う事が可能な事です。

今回、疑似トラフィックによる測定を各支局間で行う事で、エンドユーザと同じ視点での監視を行い、各拠点間での遅延、ジッタ、データロスなどの実データや MOS 値のマトリクスレポートの作成を行っております。



マネージ

Voip 測定用端末

Voip 測定用端末の高信頼性

高信頼性	弊社オリジナル測定端末
CPU	Intel Atom Processor Z530 (1.6GHz)
メモリ	1GB
ストレージ	4GB CF
OS	Linux (CentOS, RHEL 互換)
I/F	GbE LAN x1, 100Base-TX LAN x 1, RS232C x 1, USB x 5, RGB x 1 他
稼働条件	温度 0 ~+50 , 湿度 10%-90% (非結露) 耐振動性 5.0G, 耐衝撃性 100G(6ms)
ファン	なし (ファンレス)
可動部品	なし (スピンドルレス)
サイズ	48.0(W) x 110.6(D) x 168.2(H)
重量	1.06kg
設置方向	縦置き・横置き可